

GIGAびより



No.11
発行 2024.02

1 職員研修の紹介

10月の秋季休業期間を利用して、ICT活用に係る2件の研修「秋のICTデー」を実施しました。



【「DropTap」のアップデート機能を活用しよう】コミュニケーション支援アプリ「DropTap(ドロップタップ)」のアップデートで追加された、リンク機能(複数のコミュニケーションボードを遷移する機能)や動画シンボル機能の編集方法や使い方について、演習を伴う研修を行いました。演習での操作説明の様子をYouTubeチャンネルにて公開していますので、オンデマンド演習としても、ぜひご活用ください。

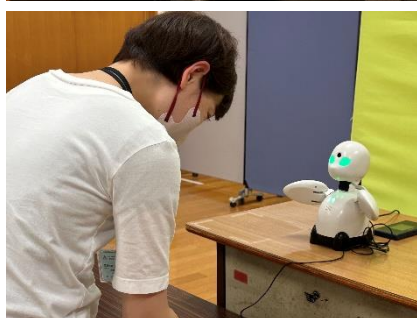
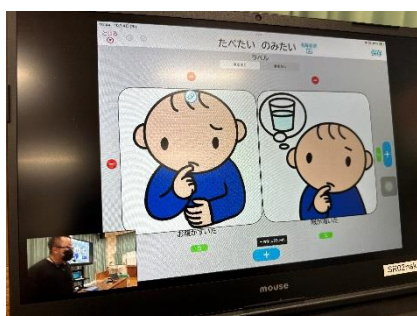


YouTube

【分身ロボット「OriHime」を体験しよう】佐賀県障害福祉課就労支援室のご協力をいただき、分身ロボット「OriHime(オリヒメ)」の体験研修を行いました。遠隔での接客場面を想定し、実際にパソコンから「OriHime」を操作して注文内容を尋ねたり、言葉に合わせて動かしたりしました。実際の様子をYouTubeチャンネルにて公開していますので、ぜひご覧ください。



YouTube



2 教育におけるICT活用事例 表彰

佐賀県教育委員会主催「令和5年度 教育におけるICT活用事例発表」において、本校の取組「特別支援教育における算数での1人1台端末活用の一事例～「分かる」「できる」主体的な学習の姿を目指して～」が、優秀賞を受賞しました。これは県内の学校でのICT活用事例を募集し、他校の参考となる取組について、3事例が表彰されたものです。今後も児童生徒の学習目標やニーズ等に応じた活用を、学校全体で取り組んでいきたいと思ひます。



3 授業紹介 小学部(知的障害通常の学級) 6年生「さつまいもでつくろう」(生活単元学習)

・単元目標と本時の目標

単元目標	知識及び技能	・さつまいもを調理し試食することで、植えた苗が成長し、さつまいもに育ったことに気付く。(生活) ・材料や道具の名前、調理に関する言葉を知る。(国語)
	思考力、判断力、表現力等	・苗を植えて収穫したさつまいもを調理して食べることができた喜びを感じ、その気持ちを表現する。(生活) ・手順書を見たり教師の説明を聞いたりして、その指示や説明に応じて調理活動を行う。(国語) ・活動を振り返って、楽しかったことや頑張ったこと等、伝えたいことを考える。(国語)
	学びに向かう力、人間性等	・自分から活動に取り組んだり、つくりたい料理や感想を伝えようとしたりする。(生活) ・手順書や説明に注目して自分から行動しようとしたり、言葉をつかって伝えようとしたりする。(国語)
本時の目標	・食べた感想や楽しかったこと、頑張ったこと等を考え発表する。 ・自分から調理活動に取り組む。	

学習目標を達成
するために…



・1人1台端末等の活用の視点

1人1台端末(ICT)活用の視点

- (1) 視点1 教科指導の効果を高めたり、情報活用能力の育成を図ったりする
- (2) 視点2 障害による学習上又は生活上の困難さを改善・克服する

- ・さつまいもの収穫までの活動や様子を思い出しながら関連付けて考えることができるよう、振り返る際には電子黒板に写真を提示しながら行い、必要に応じて確認できるよう学習用端末にも用意する。(1)
- ・調理活動の中で、手順の言葉が何を示しているのか自分で確認し、自信をもって取り組めるよう、学習用端末で手順書をつくり、工程ごとに動画を用意しておく。(2)
- ・自分の気持ちを伝えることができるよう、コミュニケーション支援アプリを使用する。(2)



手順書の例(DropTap)



自分で手順や内容を確認し、調理を進めているところ



・手だて等の評価:1人1台端末を活用することで、学習目標にせまることができたか

【◎ 手立てとして、よかったと評価できるところ、▲ 手立てとして、課題が残るところ】

- ◎「DropTap」のスケジュールボードで手順書を用意し、画像、文字、音声、動画で確認できるようにしたことで、児童が自分の力で進めることができるようになり、活動が始まるとそれぞれ自分から取り組むことができた。
- ◎「DropTap」のコミュニケーションボードで考えられる感想等を用意しておいたことで、発語がない児童も積極的に学習用端末に触れ、自分で感想を発表することができた。
- ▲感想発表では、考えられる言葉等を用意したが、児童の思いを十分に引き出せたかは課題が残る。表現が広がるよう継続して取り組んでいきたい。